〈お願い〉

〈重 要〉ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

NWL0001784609A

Aprica
Travel System

エアキャリー
AirCarry

取扱説明書／保証書

本製品は、身長40cmから83cmまでのお子さま用です。
UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
また、別売りの専用ベースと組み合わせることで、ISOFIXバーを装備した車にも使用することができます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。

UN ECE-R129/03適合　汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置

取り付け方法	お子さまの条件
後向き	身長:40cm～83cm

※体重13kgを超えるお子さまには使用できません。



参考 取扱説明動画

ご使用前に
取り付ける前に
車への取り付け・取り外し
お子さまの乗せかた
ベビーキャリー
ロッキングチェア
モジュールシステム
お手入れ・その他
保証書

NWL0001784609A

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて …… 2
保護者の方へのアドバイス …… 2
本書の表示について …… 2
本製品の使いかた／お子さまの条件 …… 3
各部のなまえ …… 5
座席の条件 …… 9
シートベルトの条件 …… 11
ご使用上の注意 …… 13

取り付ける前に

パッドの使いかた …… 17
ハンドルの使いかた …… 19
日除けの取り外しかた …… 20

車への取り付け・取り外し

取り付け準備 …… 21
取り付けかた …… 23
取り付け後の確認／日常点検 …… 27
車からの取り外しかた …… 28

お子さまの乗せかた

肩ハーネス位置の目安 …… 29
肩ハーネス位置の調節のしかた …… 30
お子さまの乗せかた …… 31
使用時の確認 …… 34

ベビーキャリー

ベビーキャリーとして使用 …… 35
持ちかた …… 36

ロッキングチェア

ロッキングチェアとして使用 …… 37

モジュールシステム

専用ベース（別売）に取り付けて
ISOFIX型チャイルドシートとして使用 …… 39
専用ベースへの取り付けかた／取り外しかた …… 40
お子さまの乗せかた …… 42

お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた …… 43
クッション材の取り外しかた …… 45
お手入れ／保管／廃棄のしかた …… 46
困ったときには …… 47
保証について …… 49
アフターサービスについての連絡先 …… 49

保証書

保証書 …… 50

ご使用前に

チャイルドシートについて

・チャイルドシートは、正しくお使いいただくことで自動車事故などの際にお子さまの傷害を軽減しますが、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国でお使いいただけます。保証については日本国内においてのみ有効です。
・本書に説明されている以外の方法で使用しないでください。衝突などの際に本来の性能を発揮できず大変危険です。

〈中古品のご使用について〉
・使用履歴や使用状態、特に事故歴の不明な場合は使用しないでください。
・ひび割れや大きなキズ、留め金のゆるみなどがある場合は使用しないでください。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。
・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）までお問合せください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

製品の取扱いにおける禁止行為です。

アドバイス　製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

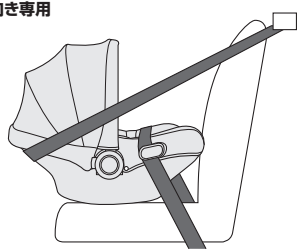
本製品の使いかた／お子さまの条件

・本製品と専用ベース（別売）、専用ベビーカー（別売）の組み合わせにより、5つの使いかたができます。
・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。

チャイルドシートとして使用 P23～P34

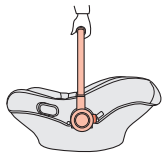
〈身　　長〉40cm～83cmまで
〈参考月齢〉新生児※～15カ月頃まで
〈参考体重〉2.5kg～13kgまで
・13kgを超えるお子さまにはご使用になれません。

後向き専用



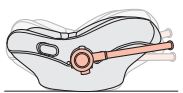
ベビーキャリーとして使用 P35～P36

〈身　　長〉40cm～83cmまで
〈参考月齢〉新生児※～15カ月頃まで
〈参考体重〉2.5kg～13kgまで
・13kgを超えるお子さまにはご使用になれません。



ロッキングチェアとして使用 P37～P38

〈身　　長〉60cm～83cmまで
〈参考月齢〉首すわり～15カ月頃まで
〈参考体重〉7kg～13kgまで
・13kgを超えるお子さまにはご使用になれません。
・チェアとしてご使用の場合は、身長40cm～83cmのお子さまにご使用いただけます。

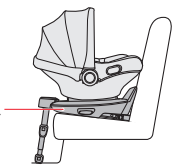


※ここでいう新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上の乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

専用ベース（別売）に取り付けて ISOFIX型チャイルドシートとして使用 P39～P42

〈身　　長〉40cm～83cmまで
〈参考月齢〉新生児※～15カ月頃まで
〈参考体重〉2.5kg～13kgまで
・13kgを超えるお子さまにはご使用になれません。

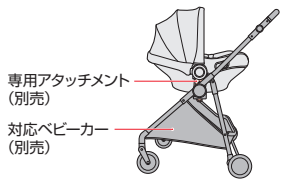
後向き専用



・専用ベース（別売）の詳細は専用ベースの取扱説明書をご覧ください。

対応ベビーカー（別売）に取り付け

〈身　　長〉40cm～83cmまで
〈参考月齢〉新生児※～15カ月頃まで
〈参考体重〉2.5kg～13kgまで
・13kgを超えるお子さまにはご使用になれません。



・対応ベビーカー（別売）への取り付け方法は対応ベビーカー、または、専用アタッチメント（別売）の取扱説明書をご覧ください。
・専用アタッチメントなしで取り付けることができるベビーカーもあります。同梱されている取扱説明書「対応ベビーカーへの本製品の取り付けかた」をご覧ください。

⚠危険　・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

各部のなまえ

梱包内容 ・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



本体



取扱説明書(本書)

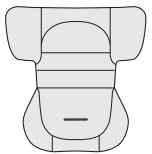


対応ベビーカーへの
本製品の取り付けかた

〈パッド〉 ・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



肩パッド
(使いかたはP17参照)



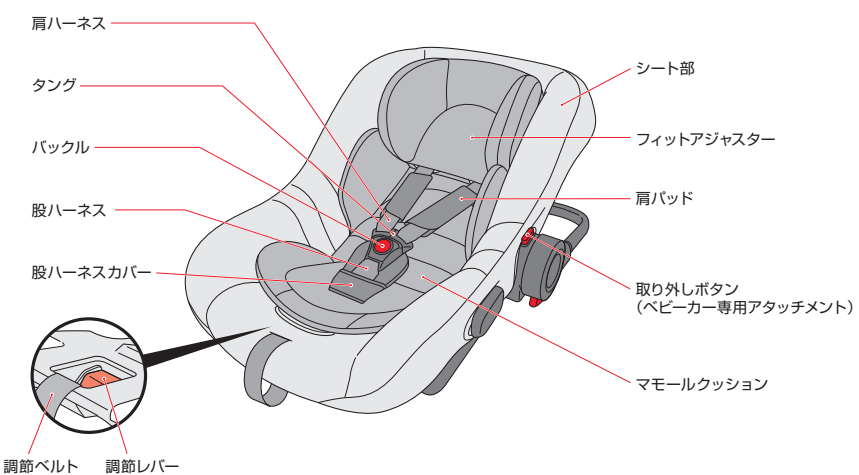
マモールクッション
(使いかたはP17参照)

〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

お客様情報登録

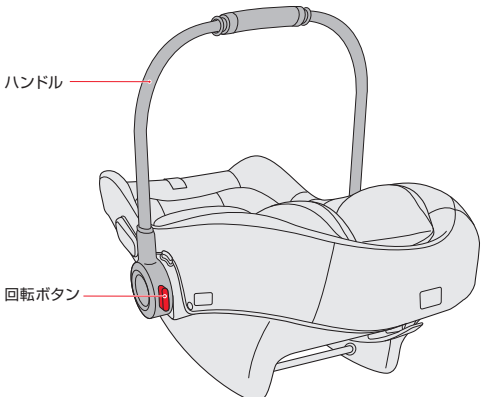


各部のなまえ

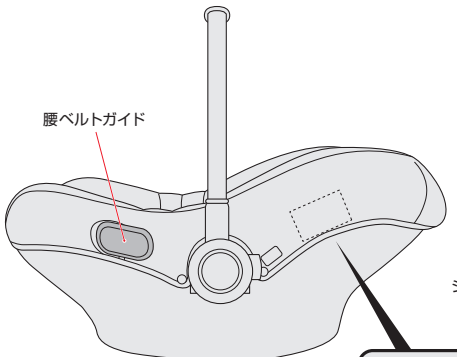
〈日除け〉

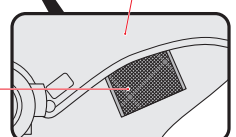
・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。





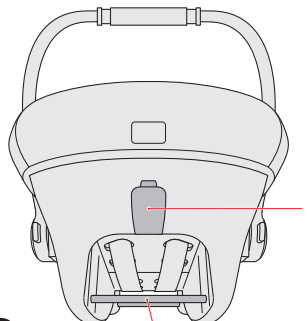
※仕組みを分かりやすくするため日除けを取り外しています。





取扱説明書収納ポケット

シートカバー内側の取扱説明書収納ポケットを引き出し、本書（取扱説明書）を収納、常備してください。



座席の条件 本製品は次の条件を満たす座席に取り付けできます。

●本製品は汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置です。
車の取扱説明書に表示されている「汎用着席位置」で主に使用するものとして、UN 規則No.129 に従って認可されています。

●車の取扱説明書に「汎用型チャイルドシートの取り付けが可能」と記載されている座席に概ね取り付けできますが、ご使用の際には必ず、
・車種適合表と車の取扱説明書で取り付け可能かをご確認ください。
・車種適合表につきましては、アップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」で最新版がご覧になれます。

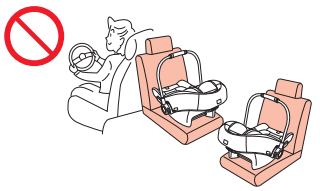
〈取り付け可能な座席〉

取り付け方法	座席条件	使用
後向き	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席：エアバッグを装備している	使用できません
	前座席：エアバッグのON/OFFが可能でON(作動状態)にしている※	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

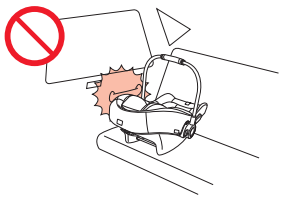
※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。
・サイドエアバッグやカーテンエアバックのみの座先には取付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

〈取り付けできない座席〉

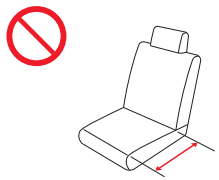
・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



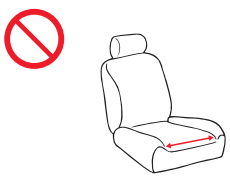
・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。

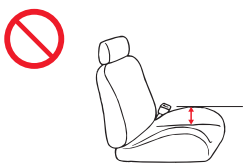


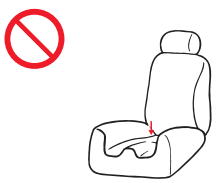
・極端に奥行きが短い座席。（補助席や幼児専用座席）



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
（極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など）





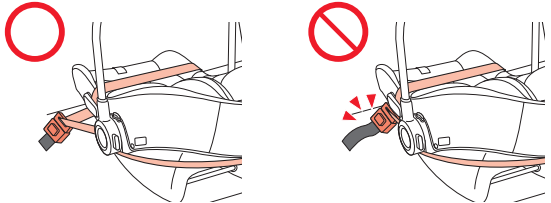


シートベルトの条件

•本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

	シートベルトの種類	特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR／ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

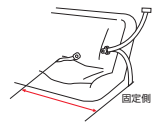
〈シートベルトバックルの正しい位置〉



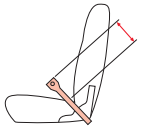
・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・左図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P49参照)

〈取り付けできない座席〉

・シートベルトの取り付け幅が極端に小さく本製品でバックルを踏みつける座席。



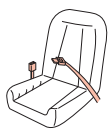
・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)



・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



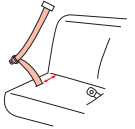
・バッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



ご使用上の注意

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・身長が40cm未満及び83cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・体重13kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席、チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに"ゆるみ"がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



ご使用上の注意

⚠警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

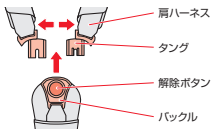
·お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
·お子さまを一人で車内に残さない。
·肩ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
·同時に二人以上で使用しない。
·緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
·チャイルドシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
·肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
·肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
·車の走行中にハーネス調節などの操作を行わない。
·チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
·お子さまを拘束したままフィットアジャスターの調節操作をしない。
·お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
·バックルや可動部に水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくい、操作ができないなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。
·専用ベースに取り付ける時は、本製品と専用ベースの間に指や手を近づけない。手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
·事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
·本製品のネジやナット類、ハーネスを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
·シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
·弊社指定アクセサリー以外のものを使用しない。
·本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
·パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
·固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
·取り外したパッド類、日除けはトランクルームやカーゴルームに保管し、乗車空間に放置しない。
·梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
·極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

·チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
·可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
·チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
·火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
·通常の椅子として使用しない。
·お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
·お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
·チャイルドシートに重量物を載せない。
·本体に貼り付けられたシールをはがさない。
·屋外に放置し、雨などにさらさない。
·チャイルドシートを周囲のものにぶつけない。
·特に肌の弱いお子さまは靴下や手袋などで肌を保護してください。生地との摩擦による擦り傷や爪が引っかかる原因となるおそれがあります。
·バックルや可動部に水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入り込まないように注意してください。故障の原因となります。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスをお子さまから外す。
③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
④安全な場所へ避難する。

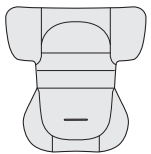


バックルからタングが抜けない時は…
●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



パッドの使いかた

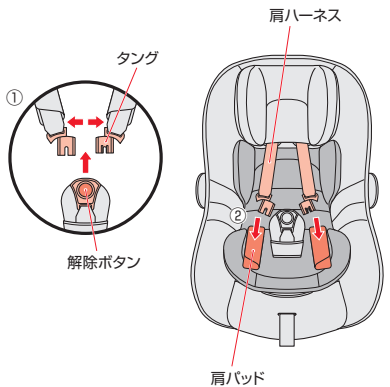
・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

	マモールクッション	肩パッド
○：必ず取り付けてください。 ⊘：必ず取り外してください。		
身長40cm～60cm以下	○	○
身長60cmを超えて～83cm	⊘	○

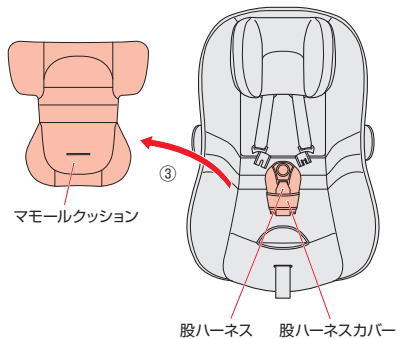
警告
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

注意
・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
・パッド類を本書に記載されている以外の目的で使用しないでください。

〈マモールクッション、肩パッドの取り外し・取り付け〉
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩パッドを肩ハーネスから抜き取る。

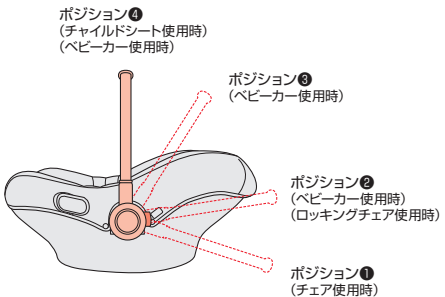


③マモールクッションを股ハーネスカバーから抜き取る。
※取り付けは逆の手順で行ってください。



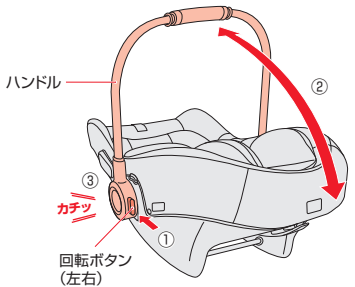
ハンドルの使いかた

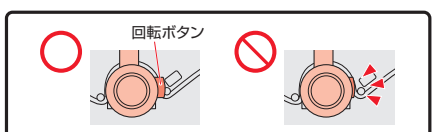
ハンドルポジションは4段階に調節できます。
使用方法に合わせて、ハンドル位置を調節してください。
チャイルドシート使用時は必ずポジション❹にしてください。



警告
・ハンドル操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬけがを負う可能性があります。
・操作時には、お子さまを近付けない。

①ハンドルの回転ボタン(左右)を同時に押しながら、
②ハンドルを前後に回転させる。
③「カチッ」と音がして、回転ボタンが元の位置に戻り、ハンドルがロックされていることを確認する。

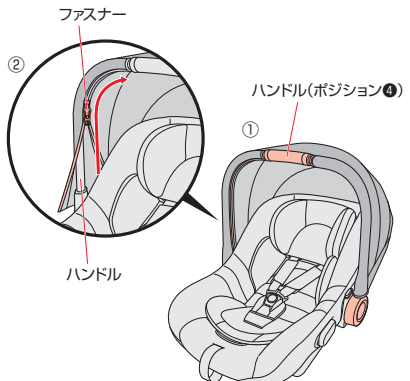




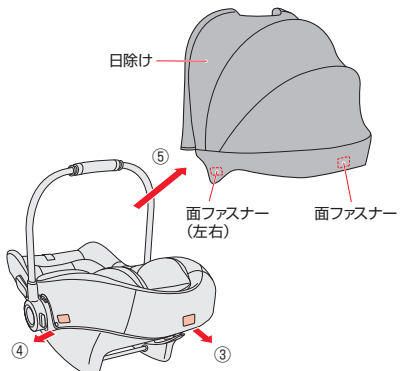
日除けの取り外しかた

・チャイルドシート使用時は必ず日除けを取り付けてください。
・取り付けは逆の手順で行ってください。

①ハンドルをポジション❹にする。(P19参照)
②ハンドル内側のファスナーを開く。(左右)



③日除け背面の面ファスナーを外す。
④日除け左右の面ファスナーを外す。
⑤日除けを取り外す。



取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをおすすめいたします。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP9～P12を参照してください。

●本書では左後部座席での取り付け方を説明しています。

危険

・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。

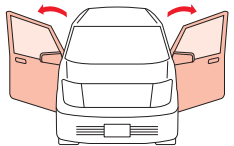
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

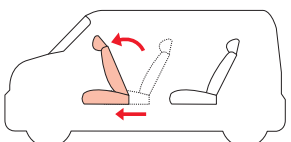
・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

1 〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

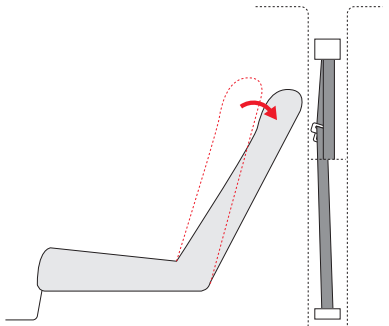


②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



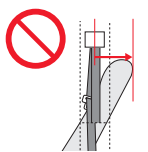
2 〈取り付ける座席の準備〉

背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



警告

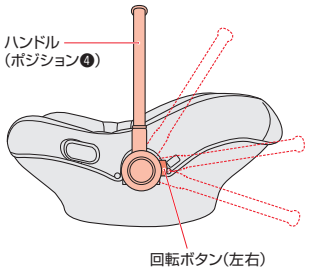
・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



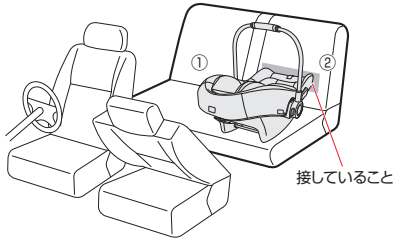
取り付けかた

・チャイルドシートにお子さまを乗せたまま取り付けることもできます。
・必ず日除けを取り付けてください。※仕組みを分かりやすくするため本書では日除けを取り外しています。

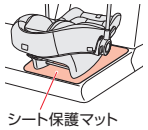
1 **〈ハンドルの角度を調節する〉**
ハンドルをポジション❹にする。(P19参照)



2 **〈チャイルドシートをのせる〉**
①チャイルドシートを車の後部座席に後向きにのせる。
②車の背もたれとチャイルドシートの先端が接するように位置を調節する。

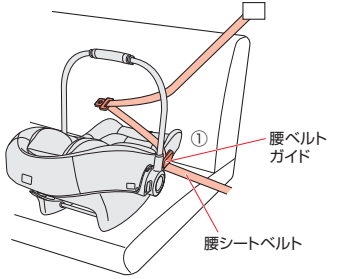


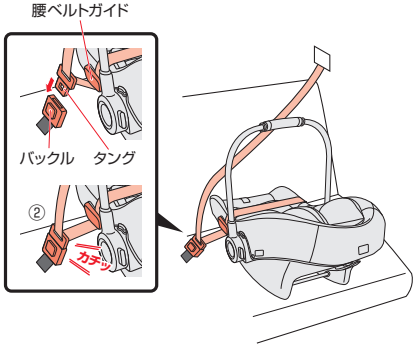
アドバイス
チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると、革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。



警告
・ハンドル操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬけがを負う可能性があります。
・操作時には、お子さまを近付けない。

3 **〈車のシートベルトを取り付ける〉**
①シートベルトを引き出し、腰シートベルトを左右の腰ベルトガイドに通す。
②シートベルトのタングをバックルに差し込む。



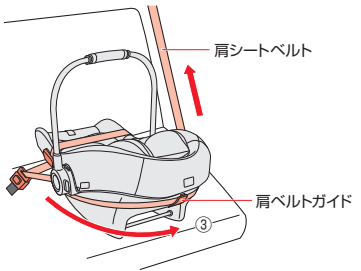


アドバイス
・ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。(P11参照)

警告
・シートベルトがねじれた状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

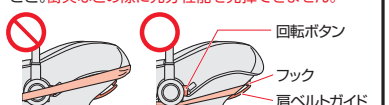
取り付けかた

③肩シートベルトを背面の肩ベルトガイドに通す。



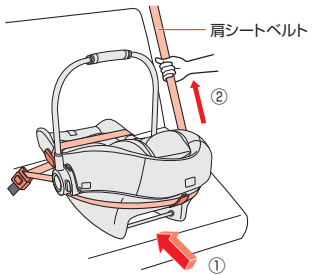
警告

・肩シートベルトが肩ベルトガイドのフックより下側を通り、ハンドルの回転ボタンの上を通っていないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



4 〈肩シートベルトをしめつける〉

①チャイルドシートを座席の背もたれに押しつける。
②チャイルドシートを押したまま肩シートベルトを強く引く。

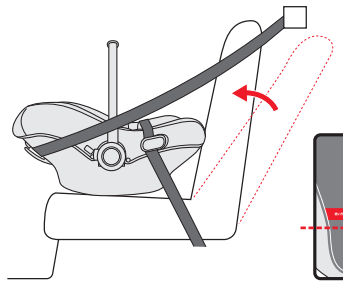


警告

・チャイルドシートと座席の背もたれが必ず接していること。接していない場合、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

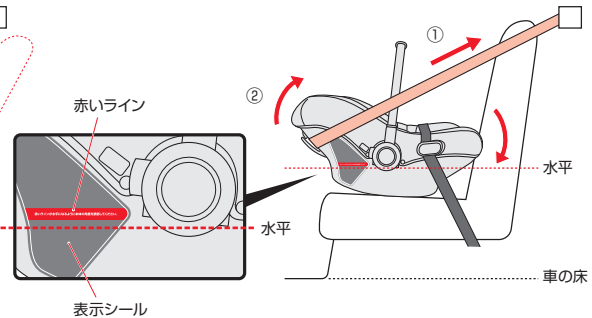
5 〈座席の背もたれを起こす〉

取り付ける座席の準備(P22参照)で背もたれを倒した場合は、チャイルドシートに強く当たるまで背もたれを起こす。



6 〈肩シートベルトを巻き取り、角度を確認する〉

①余分な肩シートベルトを巻き取る。
②表示シールの赤いラインが車の床と水平になるように、本体の角度を調節する。

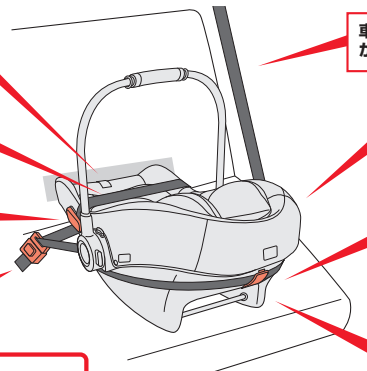


危険

・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付け後の確認／日常点検

・取り付け後は毎回チャイルドシートがしっかりと固定されていることを確認してください。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



チャイルドシートの先端が車の背もたれに接している。

タングがバックルに差し込まれている。

車の腰シートベルトが左右の腰ベルトガイドを通っている。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

車のシートベルトにねじれ、ゆるみがない。(シワは問題ありません。)

表示シールの赤いラインが車の床と水平になっている。

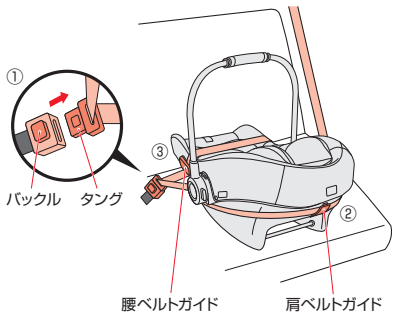
車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを通っている。

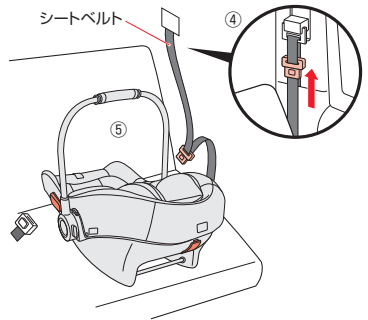
本製品下部を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が大きくずれない。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P23～P26の手順で取り付け直してください。

車からの取り外しかた

①車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
②肩シートベルトを肩ベルトガイドから外す。
③腰シートベルトを左右の腰ベルトガイドから外す。
④車のシートベルトを巻き取る。
⑤チャイルドシートを車の座席から降ろす。

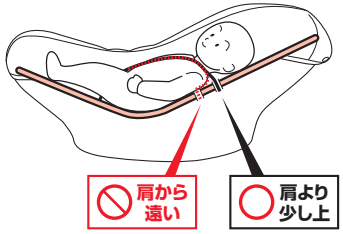




肩ハーネス位置の目安

・肩ハーネス位置(フィットアジャスターの高さ)は、お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。





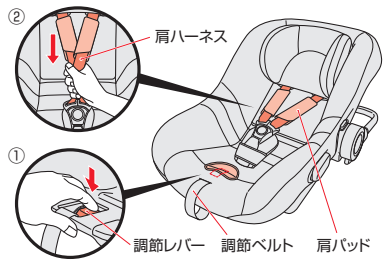
警告

・肩ハーネス位置は、お子さまの肩から遠い位置で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

肩ハーネス位置の調節のしかた

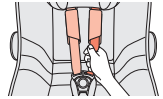
・肩ハーネスがねじれていないことを確認のうえ調節してください。

①調節レバーを押す。
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
・肩パッドより下の肩ハーネスを引いてください。

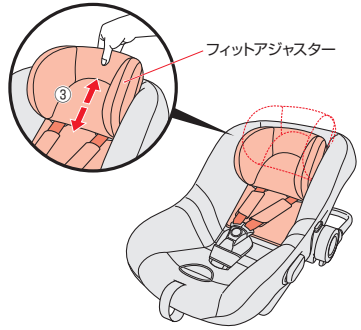


アドバイス

肩ハーネスを手前に引く際に重く感じる場合は、片方ずつ引っ張ってください。



③フィットアジャスターを上下させ、肩ハーネス位置を調節する。



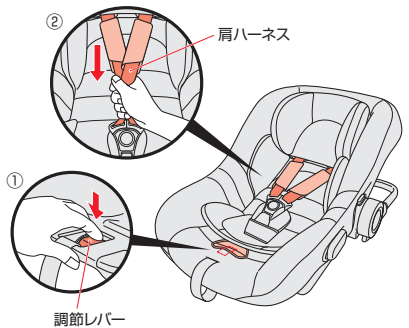
警告

・お子さまを拘束したまま肩ハーネス位置を調節しない。肩ハーネスが締まり重傷を負うおそれがあります。

お子さまの乗せかた

1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

①調節レバーを押しながら、
②左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。

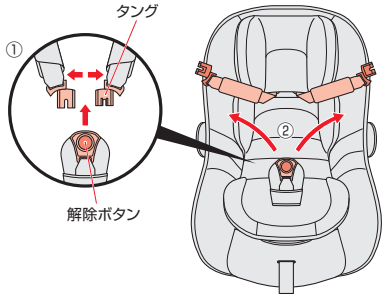


アドバイス 肩ハーネスを手前に引く際に重く感じる場合は、片方ずつ引っ張ってください。



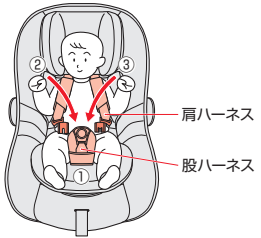
2 〈タングを外す〉

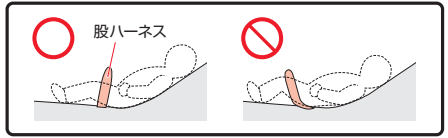
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスを左右に広げる。



3 〈お子さまを乗せる〉

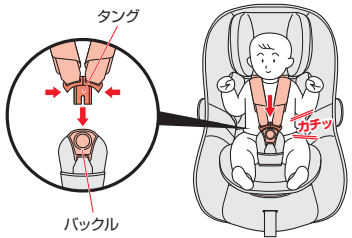
①お子さまの股間と股ハーネスが接するように中央に寝かせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。
③お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節する。(P29～P30参照)





4 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



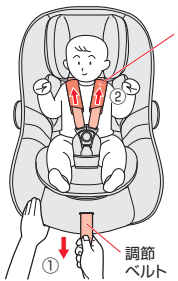
アドバイス タングがバックルに届きにくい場合は、車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。

危険
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、固定されない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをするおそれがあります。
・バックルに水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。

お子さまの乗せかた

5 **〈肩ハーネスを短く調節する〉**
①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②左右の肩パッドを、お子さまの首に当たる位置に調節する。



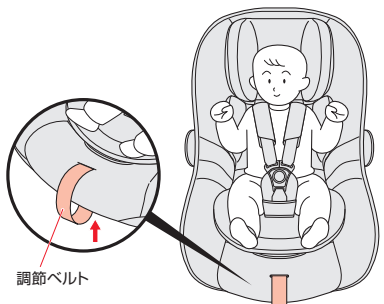


アドバイス お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

警告
・肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。
・肩ハーネスは、お子さまの肩の高さに合わせて調節し、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



6 **〈調節ベルトをとめる〉**
調節ベルトの先端の面ファスナーをシート裏側の面ファスナーにとめる。



使用時の確認 〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

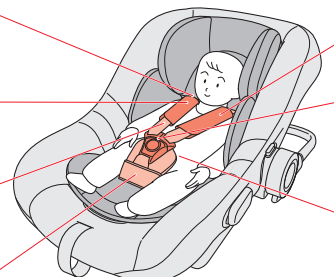
・正しくできていない場合は、もう一度P31～P33の手順をやり直してください。

肩ハーネスが肩より少し上の位置に調節されている。

肩パッドがお子さまの首に当たる位置に調節されている。

肩ハーネスがお子さまの肩にかかっている。

股ハーネスがお子さまの両足の間に通っている。



肩ハーネスにねじれ、ゆるみがない。

タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでいる。



お子さまの股間と股ハーネスが接するように中央に寝かせる。

ベビーキャリーとして使用

・本製品は、車への乗せ降ろしなどお子さまを乗せたまま持ち運べるベビーキャリーとして使用することもできます。
・肩ハーネス位置の目安、肩ハーネス位置の調節のしかたはP29～P30を参照してください。
・パッドの使いかたはP17～P18を参照してください。
・ハンドルの使いかたはP19を参照してください。
・お子さまの乗せかたはP31～P34を参照してください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・(P3「お子さまの条件」参照)

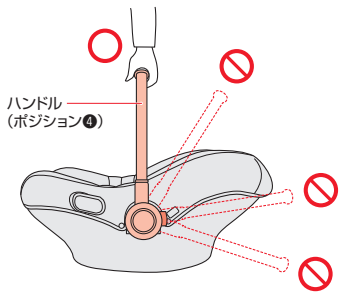
⚠警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・お子さまを乗せる時は、必ず肩ハーネスを装着し、タングとバックルを固定する。
・ハンドルを肩に掛けて持ち運ばない。お子さまが落下したり、使用者が転倒してけがをするおそれがあります。
・階段、段差、坂道など段差のある場所でぶつけないよう充分に注意する。お子さまが落下したり、使用者が転倒してけがをするおそれがあります。
・本製品をテーブルやいすの上など、落下する危険性がある場所に置かない。落下するおそれがあります。
・ハンドルポジション❹で必ず持ち運ぶ。ハンドル位置が変わり、お子さまが落下するおそれがあります。
・ハーネスや調節ベルトを持って持ち運びをしない。ハーネスなどが破損し、お子さまが落下するおそれがあります。

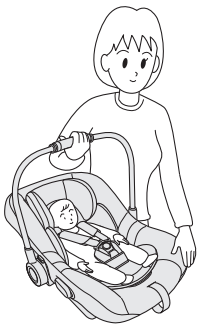
持ちかた

・ハンドルをポジション❹にする。(P19参照)

〈本製品のみを持つ場合〉



〈お子さまを乗せて持つ場合〉



⚠警告

・ハンドルと本体を必ず両手で支える。

ロッキングチェアとして使用

・本製品は、室内でロッキングチェアとして使用することもできます。
・肩ハーネス位置の目安、肩ハーネス位置の調節のしかたはP29～P30を参照してください。
・パッドの使いかたはP17～P18を参照してください。
・ハンドルの使いかたはP19を参照してください。
・お子さまの乗せかたはP31～P34を参照してください。

⚠ 危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・(P3「お子さまの条件」参照)

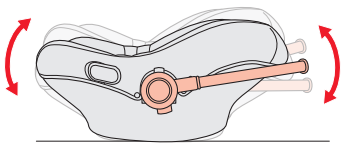
⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・お子さまを寝かせた状態で本製品を使用する際に、お子さまの足が床に着く場合は使用しない。
・保護者の目の届かない場所で使用しない。
・お子さまを乗せる時は、必ず肩ハーネスを装着し、タングとバックルを固定する。
・車内ではロッキングチェアとして使用しない。
・テーブルやいすの上など、落下する危険性がある場所や階段、段差、傾斜のある所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しない。転倒してけがをするおそれがあります。
・ストーブの近くや落下物の心配のある場所では使用しない。
・2人以上のお子さまを乗せない。
・お子さまの乗せ降ろしは必ず保護者が行う。
・お子さまが身体を乗り出さないよう注意する。

〈ロッキングチェアとして使用する場合〉

・ハンドルをポジション❷にする。(P19参照)

手で軽く押すと、本製品がゆっくりロッキングします。



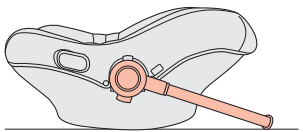
〈ポジション❷〉

⚠ 警告
・お子さまの様子を見ながら使用し、長時間使用しないこと。

〈チェアとして使用する場合〉

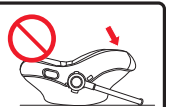
・ハンドルをポジション❶にする。(P19参照)

ロッキングせず、チェアとして使用できます。



〈ポジション❶〉

⚠ 注意
・チェア状態で矢印の方向に強い力をかけない。ハンドルが破損するおそれがあります。
強い力をかけハンドル位置が変わった場合は、外観上の破損がなくても使用しない。



専用ベース(別売)に取り付けてISOFIX型チャイルドシートとして使用

・本製品を専用ベース(別売)に取り付けると、ISOFIX型チャイルドシートとして使用することができます。
・専用ベースの車の座席への"取り付けかた"や"取り外しかた"は、専用ベースの取扱説明書をお読みください。
・本書及び専用ベースの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

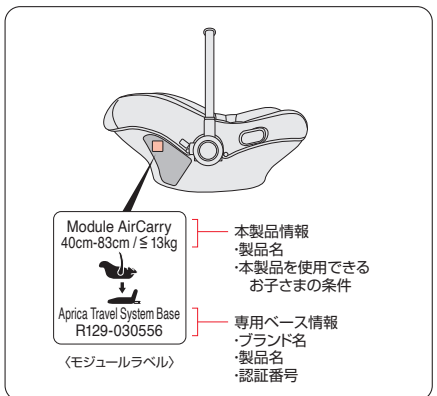
〈専用ベースについて〉

本製品を取り付けることができる専用ベースは、弊社製の下記製品のみです。

ブランド名：Aprica
製　品　名：Travel System Base
認 証 番 号：R129-030556

専用ベースについてはモジュールラベルにも記載しておりますので、ご確認のうえご使用ください。
ご不明点などございましたら、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

危険
・本製品を専用ベース以外の製品に取り付けて使用しない。大変危険です。



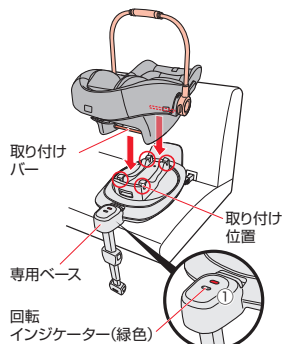
〈モジュールラベル〉

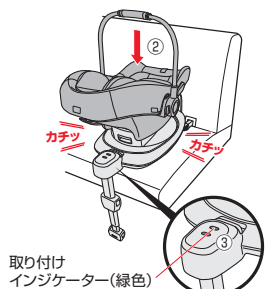
専用ベースへの取り付けかた／取り外しかた

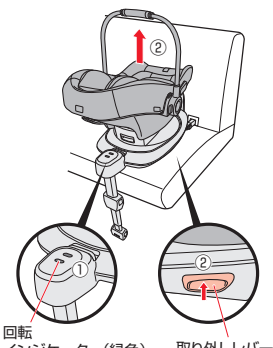
・2通りの取り付けかたができます。
・ベビーキャリーとしてお使いの場合も取り付けかたは共通です。
・ハンドルがポジション❹であることを確認してください。

〈後向きに取り付ける〉
①専用ベースの回転インジケーターが「緑色」になっていることを確認する。
②本製品の底面の取り付けバーを専用ベースの取り付け位置に合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。
③専用ベースの取り付けインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

〈後向きで取り外す〉
①専用ベースの回転インジケーターが「緑色」になっていることを確認する。
②専用ベースの取り外しレバーを引き上げ、本製品を取り外す。

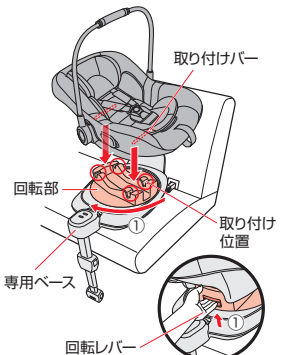


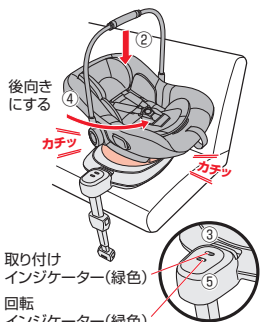




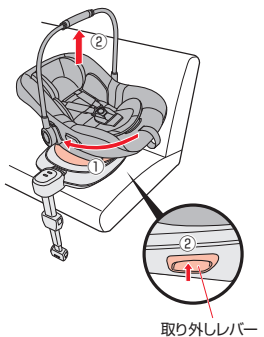
専用ベースへの取り付けかた／取り外しかた

〈横向きに取り付け、後向きに回転させる〉
①専用ベースの回転レバーを引き上げ、回転部を横向きにする。(簡易的に固定されます。)
②本製品の底面の取り付けバーを専用ベースの取り付け位置に合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。
③専用ベースの取り付けインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。
④本製品を後向きに回転させる。
⑤専用ベースの回転インジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



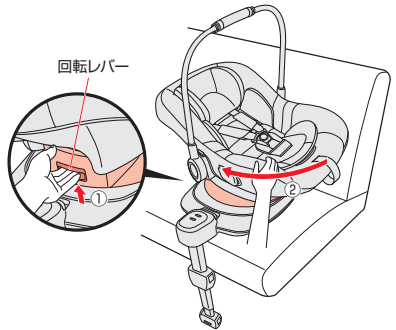


〈横向きで取り外す〉
①専用ベースの回転部を横向きにする。
(簡易的に固定されます。)
②専用ベースの取り外しレバーを引き上げ、本製品を取り外す。



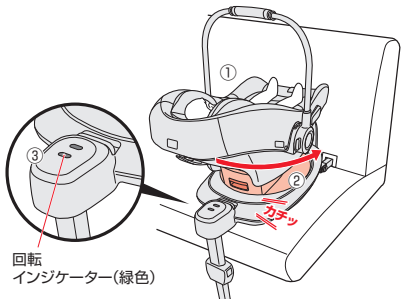
お子さまの乗せかた

1 **〈本製品を横向きに回転させる〉**
①専用ベースの回転レバーを引き上げ、
②本製品を横向きに回転させる。
(簡易的に固定されます。)



危険
・お子さまの乗せ降ろし以外で横向きに使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

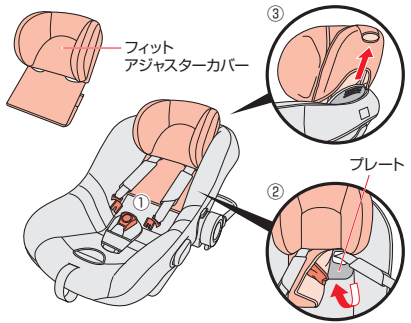
2 **〈お子さまを乗せ、本製品を後向きに回転させる〉**
①お子さまを本製品に乗せる。
(本書P31～P33参照)
②本製品を後向きに回転させる。
③「カチッ」と音がして、専用ベースの回転インジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



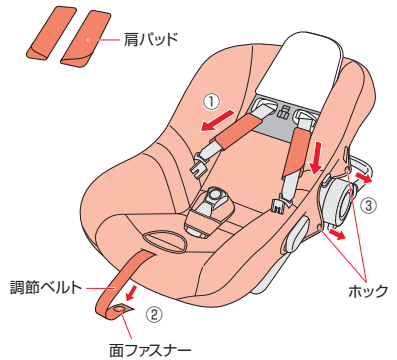
注意
・横向きでのシート部は簡易的に固定されている状態です。衝撃などをあたえると不意に回転することがありますのでご注意ください。

シートカバーの取り外しかた

〈フィットアジャスターカバーを取り外す〉
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②フィットアジャスターカバー下部をプレートから取り外す。
③フィットアジャスターカバーを抜き取る。

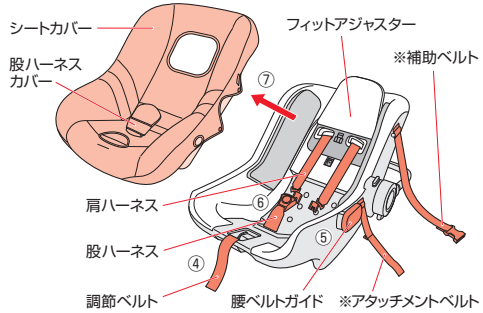


〈肩パッド・シートカバーを取り外す〉
①肩パッドを肩ハーネスから抜き取る。
②調節ベルトの面ファスナーを外す。
③シート部横側のホックを外す。(左右4カ所)



警告
・シートカバーを取り外した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ハーネスを取り外さない。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

④シートカバーを足元側からめくり、調節ベルトを抜き取る。
⑤腰ベルトガイドからシートカバーを外す。(左右)
⑥股ハーネスを股ハーネスカバーから抜き取る。
⑦フィットアジャスターと肩ハーネスを抜き取り、シートカバーを取り外す。

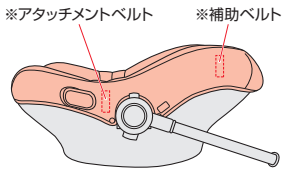


警告
・本製品をチャイルドシートとして使用する場合は、補助ベルトおよびアタッチメントベルトを使用しない。これらのベルトは対応ベビーカーに取り付ける場合にのみ使用します。

・シートカバーの取り付けは逆の手順で行なってください。

補助ベルトとアタッチメントベルトについて

補助ベルトとアタッチメントベルトは、本製品を対応ベビーカーに取り付ける際に使用します。
(詳細は同梱の「対応ベビーカーの本製品への取り付けかた」を参照ください。)
チャイルドシートとして使用する際には使用しませんので、シートカバー取り付け後は、必ずシートカバー内側に収納してください。

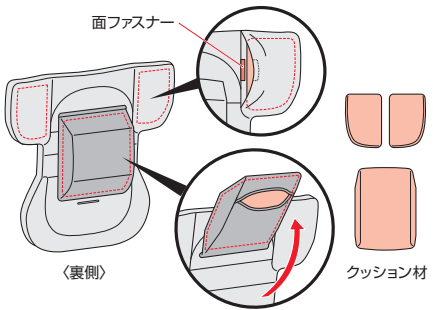


警告
・補助ベルトとアタッチメントベルトを必ずシート内側に収納する。思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

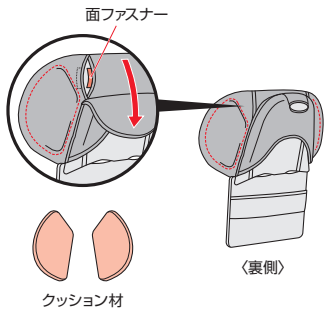
クッション材の取り外しかた

・クッション材の取り付けは逆の手順で行なってください。

〈マモールクッション〉
・左右の面ファスナーを外しクッション材を抜き取る。(2カ所)
・中央のポケットからクッション材を抜き取る。(1カ所)



〈フィットアジャスターカバー〉
・面ファスナーを外しクッション材を抜き取る。(2カ所)



警告
・クッション材を取り外した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

注意
・クッション材を洗わないでください。

お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、フィットアジャスターカバー、マモールクッション、肩パッド、日除けの洗濯〉

※クッション材を取り外してください。



注意
・他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分、ハーネス、補助ベルト、アタッチメントベルトのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉
・タオルなどで乾拭きしてください。
・回転レバー付近にゴミがつまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉
・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
・ハーネス、ベルト類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉
・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
・ハーネス、ベルト類は日陰で乾燥させてください。

注意
・本製品やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。
・本体を水洗いしないでください。故障の原因になります。

〈保管するときは〉
・本製品を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

注意
・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。
劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉
・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本製品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

困ったときには 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P49「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。(P9「座席の条件」参照)
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P9「座席の条件」参照) 取り付けできない座席については、P10「座席の条件」、P12「シートベルトの条件」を参照。

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
シートベルトの"ねじれ"が取れない。	シートベルトのバックルにタングを"ねじって"挿入していないか確認してください。 (P24「取り付けかた」参照)
	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って"ねじれ"を取り除いてください。 (P28「車からの取り外しかた」参照)
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 (P21～P26「取り付け準備」、「取り付けかた」参照)
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P49「アフターサービスについての連絡先」参照)

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してもバックルにタングが差し込めない。	厚手の上着を着せている場合は、車内温度を調節し厚手の上着を脱がせてください。
	お子さまが股ハーネスの上に乗っていないことを確認してください。(P32「お子さまの乗せかた」参照)
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 (P33「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 (P32「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P49「アフターサービスについての連絡先」参照)
シートベルトで取り付けたチャイルドシートにお子さまを乗せにくい。	シートベルトを少しゆるめてからお子さまを乗せてください。お子さまを乗せた後は、必ずシートベルトを締めなおしてください。(P25「取り付けかた」参照)

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
ハンドルがポジション④でロックされない。	日除け背面の面ファスナーがシートカバーの面ファスナーに正しく取り付けられているか確認してください。

保証について

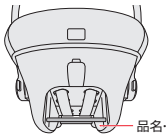
〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中**（購入日より1年間です。）**に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**（修理箇所の保証期間は1カ月です。）**
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。**（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）**

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



品名・品番・ロット番号シール

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL **0120−415−814**
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。